

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公表番号】特表 2002-529543 (P2002-529543A)

【公表日】平成 14 年 9 月 10 日 (2002.9.10)

【出願番号】特願 2000-580047 (P2000-580047)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 101/06 (2006.01)**

**B 0 1 J 19/12 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 39/04 (2006.01)**

**C 1 2 N 11/08 (2006.01)**

**G 0 3 F 7/038 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 101/06

B 0 1 J 19/12 C

C 0 8 K 5/00

C 0 8 L 39/04

C 1 2 N 11/08

G 0 3 F 7/038

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 7 日 (2006.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 a) 1 ~ 99 重量部の少なくとも 1 つのアズラクトン官能性モノマーと、0 ~ 99 部の少なくとも 1 つのコモノマーとから誘導される少なくとも 1 つの共重合体、および

b) 少なくとも 1 つの光架橋剤を含む光硬化性および光パターナブル組成物であって、前記組成物が生体分子 - アズラクトン結合を含有しない場合、光架橋剤上に存在するアズラクトン反応性官能基の数が、前記組成物中に存在するアズラクトン官能基の数よりも少ない組成物。

【請求項 2】 請求項 1 の組成物を含むヒドロゲルを含む製品であって、前記組成物が光硬化され、前記ヒドロゲルが基材に結合する製品。

【請求項 3】 前記ヒドロゲルが前記基材にそれぞれが結合する離散したゾーンに別れ、前記離散したゾーンの 1 つから選択された特徴および前記離散したゾーン間の間隙が、前記ヒドロゲル層の平面において 200  $\mu$ m 未満の最小の寸法を有する請求項 2 に記載の製品。

【請求項 4】 アズラクトン官能基の残基に共有結合した生物活性分子をさらに含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】 前記ヒドロゲルのアズラクトン官能基の残基に共有結合した生物活性分子をさらに含む、請求項 2 または請求項 3 に記載の製品。

【請求項 6】 前記ヒドロゲルの異なる離散したゾーン内のアズラクトン官能基の残基に共有結合した異なる生物活性分子をさらに含む、請求項 3 に記載の製品。

【請求項 7】 a) 請求項 1 に記載の光硬化性組成物の層を基材に適用するステップ

と、

b) 前記層の少なくとも一部が硬化するように前記層を電磁線で照射するステップと、を含む製品を製造する方法。

【請求項 8】 前記ヒドロゲルのアズラクトン官能基との反応によって、生物活性分子を前記製品の一部に固定するステップをさらに含む請求項 7 に記載の方法。